



2024年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年5月15日

上場会社名 アライドアーキテツ株式会社

上場取引所 東

コード番号 6081 URL <https://www.aainc.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO 兼 海外事業責任者 (氏名) 中村 壮秀

問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部部长 (氏名) 水野 智博

TEL 03-6408-2791

四半期報告書提出予定日 2024年5月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第1四半期の連結業績(2024年1月1日~2024年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第1四半期	799	20.9	257		165		234	
2023年12月期第1四半期	1,010	3.0	38	85.0	47	84.1	1	

(注)包括利益 2024年12月期第1四半期 328百万円 (%) 2023年12月期第1四半期 2百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第1四半期	16.47	
2023年12月期第1四半期	0.13	

(注)2023年12月期第3四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2024年12月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
2024年12月期第1四半期	4,441		2,790		60.7
2023年12月期	4,109		3,096		73.1

(参考)自己資本 2024年12月期第1四半期 2,696百万円 2023年12月期 3,003百万円

(注)2023年12月期第3四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2024年12月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期		0.00		0.00	0.00
2024年12月期					
2024年12月期(予想)					

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2024年12月期の配当予想額は未定であります。

3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日~2024年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,000	3.5	250	3.4	250	20.4	50		3.52

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年12月期1Q	14,248,282 株	2023年12月期	14,248,282 株
期末自己株式数	2024年12月期1Q	33,240 株	2023年12月期	33,240 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年12月期1Q	14,215,042 株	2023年12月期1Q	14,175,263 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	7
(セグメント情報等)	7
(企業結合等関係)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

コロナ禍収束により経済は回復基調ではありながら、為替動向、物価上昇、人件費高騰などの影響により、景気の先行きは依然として不透明な状況が続く中で、DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進がますます重要な経営戦略として認識されています。当社グループが事業を展開するマーケティング領域においてもDXの流れが加速しており、デジタル・ソーシャル時代の本格的な到来は、当社グループの事業展開に追い風となっております。

このような背景のもと、当社グループでは、企業のマーケティングDXへの対応を支援するため、自社開発のマーケティングSaaSツールやSNS活用を中心としたソリューションの提供といった『顧客企業と人をつなぐ』BtoBビジネスを展開しております。中期テーマとして「マーケティングDX支援企業としての圧倒的なポジションの確立」を目指しておりますが、2023年12月期の業績が予想を大きく下回ったことを踏まえ、2024年12月期は「国内3事業の加速と海外事業の再構築」をグループ方針に設定し、事業展開を進めております。

当第1四半期連結累計期間においては、プロダクト事業（旧国内SaaS事業）がほぼ計画通り進捗いたしました。ソリューション事業とクロスバウンド事業（旧中国進出支援事業）は季節性収益が獲得できず、海外事業（旧海外SaaS事業）は事業構造の抜本的改革に取り組むも売上回復までには至りませんでした。

その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は799,015千円（前年同期比20.9%減）となり、売上総利益は543,502千円（前年同期比29.4%減）、営業損失は257,170千円（前年同期は営業利益38,159千円）、経常損失は165,330千円（前年同期は経常利益47,585千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は234,075千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失1,873千円）となりました。

当社の報告セグメントは、マーケティングDX支援事業の単一セグメントとしておりますが、事業区分ごとの概況は以下のとおりであります。

①プロダクト事業（旧国内SaaS事業）

自社開発のマーケティングSaaSツールの提供及びSaaSで補いきれないマーケティングDX施策の提供、さらにはカスタマーサクセス人員がサポートすることによって、顧客企業のマーケティング人材の質的・量的な不足を補い、効率的かつ効果的に成果を上げるための支援を行っております。顧客体験を大きく進化できる余地があるWeb制作・LP領域に特化し、ダイレクトマーケティングの成果向上を実現するツール「Letro（レトロ）」、動画作成ツール「LetroStudio（レトロスタジオ）」、X（旧Twitter）によるプロモーションを効率的に行うためのツール「echoes（エコーズ）」が主要ツールとなっております。

2024年は引き続き、競争優位性を確立した「Letro」の成長に注力し、事業成長を目指しております。当第1四半期連結累計期間では、2024年3月からWebサイトのコンテンツ実装・検証におけるコスト削減・速度向上を実現する新機能「LetroEditor（レトロエディター）」を正式に提供開始しました。「Letro」にWebサイトの編集機能である「LetroEditor」を追加したことで、「運用型制作（データを基に改善サイクルを継続し、マーケティング成果を向上させる当社提唱のクリエイティブ運用モデル）」という独自性の高い手法を用いた顧客体験向上支援をさらに強化しております。

その結果、「Letro」は前年同期比16.9%増の成長、当事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は408,691千円（前年同期比13.1%増）となり、期末目標に向けて順調なスタートとなりました。

②ソリューション事業

ファンの存在をマーケティングに活用し、ビジネスの成長を目指す概念が浸透しつつある中で、「SNS活用」や「ファンとの関係構築・強化」をキーワードに、顧客企業のマーケティングDX課題において企画立案から施策の実行までを包括的に支援する事業を行っております。売上成長の柱として顧客企業のSNS活用を支援する受託プロジェクト（SNSアカウント運用とデジタル広告運用）を中心に展開しており、昨今では、受託プロジェクトの業務効率や企画制作力を向上させるSaaSツールの開発・提供、Z世代のデジタル人材育成も推進しております。

2024年は強みであるクリエイティブ制作力をベースに、企画提案力・営業力を強化し、新規顧客獲得の増加を目指しております。しかし、当第1四半期連結累計期間は季節性の収益機会である顧客企業の広告宣伝費の期末残予算獲得が不調となり、当事業の第1四半期連結累計期間の売上高は277,617千円（前年同期比22.4%減）となりました。

③クロスバウンド事業（旧中国進出支援事業）

近年急速に市場が拡大している越境ECへの出店による中国進出をしたい日本企業等に対し、日本の商品に愛着のある在日中国人や中華圏で人気のある日本人インフルエンサーの発信力を活用した越境ECプロモーション

等の支援を展開しております。また、インバウンド市場において訪日外国人をターゲットに商品やサービスを提供したい企業への支援を行っております。

2024年も営業人員の拡充・Webセミナー開催、自社メディアでの情報発信などを強化し新規顧客を獲得、インバウンド支援を中心にプロジェクト数の増加を目指して事業を推進いたします。

当第1四半期連結累計期間においてはインバウンド支援が前年同期比87.3%増と大きく成長し、活発化してきた需要を確実に取り込めております。一方、越境EC支援は処理水放出問題に起因した日本企業の中国向け越境プロモーションの抑制傾向が継続していることから、引き続き苦戦となりました。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は57,078千円(前年同期比19.0%減)となりました。

④海外事業(旧海外SaaS事業)

シンガポールの連結子会社であるCreadits Pte. Ltd. (以下、「Creadits」という。)は、3D広告クリエイティブ制作における高品質・ハイスピード・低価格を実現する仕組みを提供するサービス「Craft(クラフト)」をグローバルに展開しております。顧客企業はメタバース時代を牽引する欧米のゲーム会社中心で、新興国分業体制による「リモートでつながったマイクロファクトリー(小型制作工場)」を構築していることが最大の強みとなっています。

しかし、メインターゲットであるゲーム業界において、新型コロナ情勢の落ち着きによる巣ごもり需要の減少及びiOS/アンドロイドのプライバシー強化に伴うターゲティング精度の低下などを発端として、不採算タイトルや人員の整理、広告予算の大幅縮小を実施するゲーム企業が増加、2023年は継続顧客を中心とした解約が続出しました。そのため、2024年12月期は商材、提供方法、営業手法等の見直しに留まらない、抜本的な事業構造改革に取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間においては、経営チームの刷新、新体制への移行に伴う人員配置の最適化、並びに既存顧客と契約内容の精査を実施いたしました。これらの取り組みにより営業パフォーマンスは改善傾向にあり、新規顧客の獲得においても順調な進展を遂げています。しかしながら、これらの成果が売上高に反映されるには時間を要するため、当第1四半期連結累計期間の売上高は55,627千円(前年同期比74.8%減)に留まりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて331,997千円増加し、4,441,593千円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が287,343千円減少した一方で、現金及び預金が473,318千円、のれんが69,514千円それぞれ増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて638,033千円増加し、1,651,392千円となりました。これは主に、新規借入により長期借入金が384,387千円、1年内返済予定の長期借入金が101,686千円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて306,036千円減少し、2,790,200千円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失234,075千円を計上したこと及び為替換算調整勘定が82,927千円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月期の業績予想につきましては、2024年2月14日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,844,956	2,318,274
受取手形及び売掛金	1,341,708	1,054,364
その他	260,793	315,555
貸倒引当金	△98,397	△114,016
流動資産合計	3,349,060	3,574,178
固定資産		
有形固定資産	52,865	63,956
無形固定資産		
のれん	14,040	83,555
顧客関連資産	43,293	41,678
その他	194,455	209,594
無形固定資産合計	251,790	334,828
投資その他の資産		
投資有価証券	348,943	359,108
その他	108,231	112,000
貸倒引当金	△1,295	△2,479
投資その他の資産合計	455,879	468,630
固定資産合計	760,535	867,415
資産合計	4,109,596	4,441,593
負債の部		
流動負債		
買掛金	337,989	263,943
1年内返済予定の長期借入金	83,148	184,834
未払法人税等	108,887	67,576
その他	270,276	518,921
流動負債合計	800,300	1,035,275
固定負債		
長期借入金	185,614	570,001
繰延税金負債	12,264	18,318
その他	15,179	27,798
固定負債合計	213,058	616,117
負債合計	1,013,358	1,651,392
純資産の部		
株主資本		
資本金	886,930	886,930
資本剰余金	1,197,734	1,197,734
利益剰余金	1,027,162	792,900
自己株式	△12,072	△12,072
株主資本合計	3,099,754	2,865,493
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	86,653	96,210
為替換算調整勘定	△182,734	△265,662
その他の包括利益累計額合計	△96,081	△169,452
新株予約権	8,101	7,876
非支配株主持分	84,463	86,282
純資産合計	3,096,237	2,790,200
負債純資産合計	4,109,596	4,441,593

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年1月1日 至2024年3月31日)
売上高	1,010,409	799,015
売上原価	240,382	255,513
売上総利益	770,026	543,502
販売費及び一般管理費	731,866	800,672
営業利益又は営業損失(△)	38,159	△257,170
営業外収益		
受取利息	15	21
受取配当金	3,381	-
持分法による投資利益	1,933	-
為替差益	7,329	101,310
その他	1,675	250
営業外収益合計	14,334	101,583
営業外費用		
支払利息	661	852
持分法による投資損失	-	4,007
株式交付費	9	-
投資事業組合運用損	4,002	4,882
その他	234	0
営業外費用合計	4,909	9,742
経常利益又は経常損失(△)	47,585	△165,330
特別利益		
新株予約権戻入益	76	224
特別利益合計	76	224
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	47,661	△165,105
法人税、住民税及び事業税	41,183	59,438
法人税等調整額	3,743	1,990
法人税等合計	44,926	61,428
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,735	△226,534
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,608	7,541
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,873	△234,075

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	2,735	△226,534
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△293	9,557
為替換算調整勘定	△4,602	△82,927
その他の包括利益合計	△4,896	△73,370
四半期包括利益	△2,161	△299,904
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△6,769	△307,446
非支配株主に係る四半期包括利益	4,608	7,541

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の変更)

当第1四半期連結会計期間より、Book & Entries Capital Pte. Ltd. の株式を取得したことに伴い、当該会社を連結の範囲に含めております。なお、Book & Entries Capital Pte. Ltd. は2024年3月31日をみなし取得日としており、当該第1四半期連結会計期間においては貸借対照表のみを連結しております。

また、当第1四半期連結会計期間より、重要性の観点から、非連結子会社であったAllied Verse Pte. Ltd. を連結の範囲に含めております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、マーケティングDX支援事業を主な事業とする単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(企業結合等関係)

(取得による企業結合)

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及び事業の内容

被取得企業の名称 Book & Entries Capital Pte. Ltd.

事業の内容 会計サービス事業

(2) 企業結合を行った主な理由

Book & Entries Capital Pte. Ltd. は、シンガポールにおいて会計業務支援サービスを提供しております。会計ソフトウェア会社と協業し、顧客の会計・経理業務のデジタル化促進を特徴としております。

当社とBook & Entries Capital Pte. Ltd. の協業により、日系企業が海外進出する際の課題をワンストップで解決できるソリューションを提供できること、及び当社の中国進出支援事業とのシナジーを創出できることが見込まれることから、Book & Entries Capital Pte. Ltd. 株式を取得し子会社化することを決定いたしました。

(3) 企業結合日

2024年3月18日 (みなし取得日2024年3月31日)

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

(5) 結合後企業の名称

変更ありません。

(6) 取得した議決権比率

70%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

現金を対価とした株式取得により、当社が議決権の70%を獲得したためであります。

2. 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

取得日を当四半期連結会計期間末とみなしているため、該当事項はありません。

3. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	735千 SGD
取得原価		735千 SGD

4. 主要な取引関連費用の内容及び金額

アドバイザー費用等 1,500千円

5. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

(1) 発生したのれん

70,800千円

なお、のれんは、当第1四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

(2) 発生原因

主としてBook & Entries Capital Pte. Ltd. の今後の事業展開から期待される超過収益力であります。

(3) 償却方法及び償却期間

5年間にわたる均等償却

6. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

流動資産	51,536千円
固定資産	15,192千円
資産合計	66,728千円
流動負債	28,992千円
固定負債	20,881千円
負債合計	49,873千円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。